

# 平成29年度 事務事業評価シート

基本情報							
事業コード				事務事業名 (予算事業名)	水道総係事業 (3条予算)		
予算科目	会計		款	項	目		

計画 (Plan)								
計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち			根拠	法令(国)	水道法、地方公営企業法
	政策	9	自然環境を守り、美しい景観をつくる				法令(県)	
	施策	35	日常生活から見直す環境にやさしいまちづくり				市条例	上天草市水道事業給水条例
事業開始		平成27年度			その他			
目的・目標 (何のために)		安全で安心な水道水を安定的に供給するために、健全な水道事業の経営を行う。						
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		収益的業務における支払事務や予算・決算等の会計処理業務全般 【項】 営業費用           【目】 総係費・簡易水道費・減価償却費・資産減耗費・その他営業費 【〃】 営業外費用       【〃】 支払利息及び企業債取扱諸費・雑支出・消費税及び地方消費税 【〃】 特別損失           【〃】 特別損失 【〃】 予備費               【〃】 予備費						
対象者 (誰に対して) …指標②		上水道の利用者						
手段・実施方法 (どのようにするか)		地方公営企業法に基づき、営業活動に必要な人件費・賃金・減価償却費・起債利息償還その他支出処理や予算制定・決算処理等の会計処理業務全般を実施する。						
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		健全な水道事業の運営。						

実施 (Do)				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
指標 / 年度				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)	
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	514,556	513,862	498,691	489,846	0
		事業費用	千円	実績値	526,695	504,422	497,093	0	0
	②	活動指標イ	単位	目標値	734,450	730,362	728,892	727,019	0
		給水収益	千円	実績値	745,801	742,361	739,117	0	0
	③	対象指標ア	単位	目標値	27,000	27,000	27,000	0	0
		給水人口	人	実績値	25,667	25,415	25,082	0	0
		対象指標イ	単位	目標値	29,000	29,000	29,000	0	0
	④	総人口	人	実績値	28,851	28,327	27,615	0	0
		成果指標ア	単位	目標値	100	100	100	0	0
		徴収率	%	実績値	98.16	97.58	98.37	0	0
		成果指標イ	単位	目標値	88.5	90	90	0	0
	⑤	普及率	%	実績値	88.96	89.72	90.83	0	0
上位成果指標ア		単位	目標値	0.5	0.5	0.5	0	0	
徴収率増減		%	実績値	2.57	-0.58	0.79	0	0	
上位成果指標イ		単位	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5	0	
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円	481,959	449,990	444,145	489,846	
			一般財源	千円					
	事業費計(A)			千円	481,959	449,990	444,145	489,846	0
	人件費	正規職員従業者人数	人	6	7	7	7	0	
		延べ業務時間数	時間	11,184	13,608	13,237	0	0	
		人件費計(B)	千円	44,736	54,432	52,948	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	526,695	504,422	497,093	489,846

事務事業名	水道総係事業（3条予算）	部	—	課	水道局	係	庶務係
-------	--------------	---	---	---	-----	---	-----

**評価 (Check)**

**評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価**

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 水道法及び地方公営企業法に基づき、市民生活に必要な水道水を安定供給するために実施している事業であることから、必要であり結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 水道法等により市が水道事業を運営することとされていることから、地方公営企業法に基づき水道事業を運営し、市民等へ安心安全な水道水を提供していることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 市民へ水道水を安定的に供給するために必要な事業を推進していくことから妥当である。
有効性 評価	④ 成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 企業としての事業運営に必要な最低限の人員で行っている。災害等の発生により、安定供給に支障をきたす事故等が発生した場合は、人員が不足する可能性がある。
	⑤ 廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 市民が生活を続ける上で、水道水の供給は必要不可欠であることから、廃止することは難しい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 水道事業においては、類似事業がない。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 水道事業の運営に必要予算で行っていることから、難しい。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 これ以上の人員削減は、事業運営に支障をきたすことから難しい。また、一部事業の包括民間委託などを実施した場合は、人件費の削減は可能であるが、人件費の削減以上に委託料等の他の経費が増加する可能性がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 この事務により健全な水道事業の運営を行い、水道利用者全体に安定的に水道水を提供することから公平である。

**評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）**

全体総括（振り返り、反省点）  
市民に対し安心で安全な水道水の安定供給ができており、引き続き事業を継続していく必要がある。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可	改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入	成果	コスト		
現状維持		削減	維持	増加
		向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>		
	低下	<input type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策  
事業運営していく上で必要な企業会計事務に精通した職員や固定資産等の改良・維持を出来る職員数が減少をしており、事業の継続に支障をきたす可能性が高まっていることから、人員を確保し、育成していく必要がある。

# 平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード				事務事業名 (予算事業名)	原水及び浄水事業 (予算、決算：税込)				
予算科目	会計		款		項		目		

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち				根拠	法令(国)	水道法	
	政策	9	自然環境を守り、美しい景観をつくる					法令(県)		
	施策	35	日常生活から見直す環境にやさしいまちづくり					市条例	水道事業管理規程	
事業開始		平成27年度				その他				
目的・目標 (何のために)		原水及び浄水 (水道水) の安全性を確認し、市民に安全な水道水を供給する。								
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		安全な水道水供給のため、法令で定められた下記の水質検査を行う。 ・浄水の9項目検査 (毎月) ・浄水の18項目検査 (年3回) ・浄水の51項目検査 (年1回) ・原水の40項目検査 (年1回) ・原水の農薬120項目検査 (年1回) ・宇城水道企業団及び八代生活環境事務組合からの原水購入								
対象者 (誰に対して) …指標②		水道利用者								
手段・実施方法 (どのようにするか)		原水及び浄水を、法令で定められた水質検査を行う。 ・上天草・宇城水道企業団受水量 (大矢野町、姫戸町、龍ヶ岳町) 年1,565,503m <sup>3</sup> ・八代生活環境事務組合受水量 (大矢野町) 年2,153,373m <sup>3</sup> ・年間受水費 3,718,876円								
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		市民が快適な住環境で、安全に安心して暮らせるまちづくり								

実施 (Do)												
指標 / 年度 ① ② ③ ④ 総投入量	指標 / 年度			平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)				
	ハ指標	活動指標ア	単位	目標値	1	1	1	0	0			
			回	実績値	1	1	1	0	0			
		活動指標イ	単位	目標値	12	12	12	0	0			
			回	実績値	12	12	12	0	0			
		②	対象指標ア	単位	目標値	12,000	12,000	12,000	0	0		
				戸	実績値	11,732	11,679	11,620	0	0		
	対象指標イ		単位	目標値	27,000	27,000	27,000	0	0			
	③	成果指標ア	単位	目標値	80	85	90	0	0			
			%	実績値	77.63	77.9	77.92	0	0			
		成果指標イ	単位	目標値								
	④	上位成果指標ア	単位	目標値	88.5	89	90	0	0			
			%	実績値	88.96	89.72	90.83	0	0			
		上位成果指標イ	単位	目標値								
	総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
県支出金				千円								
地方債				千円								
その他				千円	306,366	309,281	313,817	317,961				
一般財源				千円								
事業費計(A)		千円	306,366	309,281	313,817	317,961	0					
人件費		正規職員従業者人数	人	5	5	6	0	0				
		延べ業務時間数	時間	972	4,860	4,860	0	0				
		人件費計(B)	千円	3,888	19,440	19,440	0	0				
トータルコスト(A)+(B)			千円	310,254	328,721	333,257	317,961	0				

事務事業名	原水及び浄水事業（予算、決算：税込）	部	水道局	課	水道局	係	工務係
-------	--------------------	---	-----	---	-----	---	-----

**評価 (Check)**

**評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価**

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 安全な水道水の安定的供給に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である） 水道事業は、原則として市町村が経営するとされており妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 法で定められた業務であり、対象者も意図も適切である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 最小限の予算で行っており向上の余地はない。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし） 安全な水道水の供給に支障をきたす。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない
		<input type="checkbox"/> 他に手段がない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 法で定められた業務であり、削減できない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 検査業務は業者に委託しており、これ以上の削減は困難である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない 水道供給者に対する事業であり、公平である。

**評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）**

全体総括（振り返り、反省点）  
民間業者への委託業務を見積入札により実施し経費削減に努める。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入				
成果		コスト		
		削減	維持	増加
	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	低下	<input type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策  
【前年度内容】現状維持

# 平成29年度 事務事業評価シート

## 基本情報

事業コード			事務事業名 (予算事業名)	配水及び給水事業 (予算, 決算: 税込)			
予算科目	会計	款	項	目			

## 計画 (Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	水道法
	政策	9	自然環境を守り、美しい景観をつくる		法令(県)	
	施策	35	日常生活から見直す環境にやさしいまちづくり		市条例	水道事業管理規定・給水条例
事業開始		平成27年度			その他	
目的・目標 (何のために)		安全で良質な水道水を安定的に供給する。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		浄水施設及び配水地等の各施設の整備、導水、送水、配水管の維持管理事業				
対象者 (誰に対して) …指標②		水道利用者				
手段・実施方法 (どのようにするか)		各施設及び導水、送水、配水管の点検整備 ・年間配水量 大矢野町 1,383,050m <sup>3</sup> 湯島 24,975m <sup>3</sup> 松島町 926,969m <sup>3</sup> 姫戸町 203,960m <sup>3</sup> 龍ヶ岳町 482,795m <sup>3</sup> ・漏水工事件数 187件 10,045,233円				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		市民が快適な住環境で、安全に安心して暮らせるまちづくり。				

## 実施 (Do)

	指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)	
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	63	63	63	0	0
		各施設数	箇所	実績値	63	63	63	0	0
		活動指標イ	単位	目標値	200	200	200	0	0
		漏水工事件数	箇所	実績値	239	213	187	0	0
	②	対象指標ア	単位	目標値	3,000,000	3,000,000	300,000	0	0
		年間配水量	m <sup>3</sup>	実績値	3,072,652	3,037,973	3,021,749	0	0
		対象指標イ	単位	目標値	27,000	27,000	27,000	0	0
		給水人口	人	実績値	25,667	25,415	25,082	0	0
	③	成果指標ア	単位	目標値	80	85	90	0	0
		有収率	%	実績値	77.63	77.9	77.92	0	0
成果指標イ		単位	目標値						
			実績値						
④	上位成果指標ア	単位	目標値	88.5	89	89	0	0	
	普及率	%	実績値	88.96	89.72	90.83	0	0	
	上位成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円	73,595	84,239	103,725	117,141	
			一般財源	千円					
	事業費計(A)			千円	73,595	84,239	103,725	117,141	
	人件費	正規職員従業者人数	人	5	5	6	0	0	
延べ業務時間数		時間	3,888	4,860	4,860	0	0		
人件費計(B)		千円	15,552	19,440	19,440	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	89,147	103,679	123,165	117,141		

事務事業名	配水及び給水事業（予算、決算：税込）	部	水道局	課	水道局	係	工務係
-------	--------------------	---	-----	---	-----	---	-----

**評価 (Check)**

**評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価**

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 安全な水道水を安定的の供給するために必要な事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 水道事業は、原則として市町村が経営することとされており妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 水道事業の受益者は給水サービスを受ける水道使用者であり対象者は適切である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 管理計画の作成により、適切な管理が出来る。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 市民への供給サービスができなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 【前年度内容】地区ごとの施設等であるため。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 管理計画の作成によりコストの削減につながる。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最小限の人員で事業を行っており削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 水道利用者であり、適切である。

**評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）**

全体総括（振り返り、反省点）  
 継続して随時整備を行う。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入				
成果	【前年度内容】計画的に改修に努める。	コスト		
		削減	維持	増加
	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策  
 【前年度内容】施設の維持・改修費の予算確保のため、コスト削減に努める。

# 平成29年度 事務事業評価シート

基本情報						
事業コード				事務事業名 (予算事業名)	建設改良事業 (予算、決算：税込)	
予算科目	会計	款	項	目		

計画 (Plan)							
計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち		根拠	法令(国)	水道法
	政策	9	自然環境を守り、美しい景観をつくる			法令(県)	
	施策	35	日常生活から見直す環境にやさしいまちづくり			市条例	配水管布設規程
	事業開始	平成27年度				その他	水道事業実務必携
目的・目標 (何のために)	安全で良質な水道水を安定的に供給する。						
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①	老朽化した配水管の布設替え、新設管の布設事業 ・整備計画の作成 ・設計書の作成業務 ・監督業務 ・竣工検査業務						
対象者 (誰に対して) …指標②	水道利用者						
手段・実施方法 (どのようにするか)	老朽化した配水管・給水管の布設替え事業及び配水管新設事業の実施。 ・上天草市水道事業アセットマネジメント作成業務委託 ・独立地区送水管・配水管布設替工事設計業務委託 ・送水管布設替工事 φ75mm~250mm L=579.50m ・配水管布設替工事 φ50mm~150mm L=1,106.48m ・配水管新設工事 φ50mm L=285.0m ・増圧ポンプ設備工事 1式 ・送水監視システム構築工事 1式 ・湯島浄水場前処理施設整備工事 1式 ・大湯ポンプ場受電設備改修工事 1式						
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④	市民が快適な住環境で、安全に安心して暮らせるまちづくり。						

実施 (Do)								
指標 / 年度 ① ② ③ ④ 総投入量	指標 / 年度			平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)
	活動指標ア	単位	目標値	15	19	15	0	0
		箇所	実績値	18	24	17	0	0
	① 工事発注件数	単位	目標値	132,300,000	88,000,000	167,500,000	277,000,000	0
		円	実績値	54,710,000	61,168,460	81,461,391	0	0
	活動指標イ	単位	目標値					
			実績値					
	② 工事発注額	単位	目標値	12,000	12,000	12,000	0	0
		戸	実績値	11,732	11,679	11,620	0	0
	対象指標ア	単位	目標値	27,000	27,000	27,000	0	0
			実績値	25,667	25,415	25,082	0	0
	③ 対象指標イ	単位	目標値					
			実績値					
	成果指標ア	単位	目標値	80	85	90	0	0
		%	実績値	77.63	77.9	77.92	0	0
④ 有収率	単位	目標値						
		実績値						
上位成果指標ア	単位	目標値	88.5	89	90	0	0	
	%	実績値	88.96	89.72	90.83	0	0	
普及率	単位	目標値						
		実績値						
④ 上位成果指標イ	単位	目標値						
		実績値						
総投入量	事業費	財源内訳	千円			23,416	36,400	
		国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	70,948	83,651	58,045	240,600	
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	70,948	83,651	81,461	277,000	0	
人件費	正規職員従業者人数	人	5	5	6	0	0	
	延べ業務時間数	時間	4,860	4,860	4,860	0	0	
	人件費計(B)	千円	19,440	19,440	19,440	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	90,388	103,091	100,901	277,000	0

事務事業名	建設改良事業（予算、決算：税込）	部	水道局	課	水道局	係	工務係
-------	------------------	---	-----	---	-----	---	-----

**評価 (Check)**

**評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価**

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 有収率を向上させ、健全な水道事業の運営を行うことにより、水道水の安定供給に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 水道事業は、原則として市町村が経営することとされており妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 計画的に実施することで、有収率の向上につながる。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 市民への供給サービスが出来なくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 理由 理由
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最小限の予算及び人員で事業を行っており、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最小限の人員で事業を行っており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 市民全体であり公平である。

**評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）**

全体総括（振り返り、反省点）

老朽化した送・配水管及び給水管の布設替事業の実施。  
管路台帳の整備及び長期整備計画の策定が必要である。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		コスト		
		削減	維持	増加
【前年度内容】長期整備計画の策定。	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

【前年度内容】適正な建設改良積立金の見直しと年度別事業費の配分。



# 平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード				事務事業名 (予算事業名)	資本的収益事業（企業債の借入及び償還）（4条予算）				
予算科目	会計		款		項		目		

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち			根拠	法令(国)	水道法・地方公営企業法		
	政策	9	自然環境を守り、美しい景観をつくる				法令(県)			
	施策	35	日常生活から見直す環境にやさしいまちづくり				市条例	上天草市水道事業給水条例		
事業開始		平成27年度				その他				
目的・目標（何のために）		安全で安心な水道水を安定的に供給するために、健全な水道事業の経営を行う。								
事務事業概要（どのようなことを） …指標①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設改良費等（老朽化に伴う配水管布設替工事等）資本的支出の財源とするため、企業債の借入を行う。</li> <li>・企業債の償還を行う。</li> </ul>								
対象者（誰に対して） …指標②		企業債の借入先（財務省、市中銀行等）								
手段・実施方法（どのようにするか）		企業債借入申請及び償還事務								
期待される（見込まれる）成果（効果） …指標③④		健全な水道事業の運営。								

実施 (Do)										
＼ 指標 ／	指標 / 年度			平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)		
	①	活動指標ア	単位	目標値	275,825	272,155	269,040	260,360	0	
		資本費収益額	千円	実績値	275,780	272,154	269,037	0	0	
		活動指標イ	単位	目標値						
				実績値						
	②	対象指標ア	単位	目標値						
				実績値						
		対象指標イ	単位	目標値						
				実績値						
	③	成果指標ア	単位	目標値						
			実績値							
	成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
④	上位成果指標ア	単位	目標値							
			実績値							
	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総 投 入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円	275,780	272,154	269,037	260,630		
			一般財源	千円						
	事業費計(A)			千円	275,780	272,154	269,037	260,630	0	
	人件費	正規職員従業者人数	人		1	1	1	0	0	
延べ業務時間数		時間		80	80	80	0	0		
人件費計(B)		千円		320	320	320	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	276,100	272,474	269,357	260,630	0		

事務事業名	資本的収益事業（企業債の借入及び償還）（4条予算）	部	一	課	水道局	係	庶務係
-------	---------------------------	---	---	---	-----	---	-----

**評価 (Check)**

**評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価**

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 水道法及び地方公営企業法に基づき、市民生活に必要な水道水を安定供給するために実施している事業であることから、必要であり結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 水道法等により市が水道事業を運営することとされていることから、地方公営企業法に基づき水道事業を運営し、市民等へ安心安全な水道水を提供していることから妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 地方公営企業法に基づき、安定的な企業経営を行う上で妥当である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 企業としての事業運営に必要な人員で行っている。なお、災害等の発生により、上水道の安定供給に支障をきたす事故等が発生した場合は、人員が不足する可能性がある。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 市民が生活を続ける上で、水道水の供給は必要不可欠な事業であることから本事業の廃止等はできない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 水道事業においては、類似事業はない。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 企業債の借入、償還に係る事業であることから、事業費の削減は難しい。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 これ以上の人員削減は事業の運営に支障をきたすことから難しい。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 この事務により借入等を行った財源を基に建設改良等の事業を実施し、安定的に水道水の提供することで、水道利用者全体に公平にサービスを提供し、また、その対価として水道使用料を徴している。

**評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）**

全体総括（振り返り、反省点）

建設改良事業の計画に合わせ、適切な資金管理を行う。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可	改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入				
建設改良事業の計画に合わせ、適切な資金管理の実施。	成果	コスト		
		削減	維持	増加
		向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	低下	<input type="checkbox"/>		

**改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策**

企業経営の視点から事業資金管理を行える人材を配置し、育成する必要がある。